弓削商船高等専門学校	開講年度	令和03年度 (2021年度)	授業科目	海上輸送工学

科目基礎情報

科目番号	0029	科目区分	専門 / 選択
授業形態	授業	単位の種別と単位数	学修単位: 2
開設学科	海上輸送システム工学専攻	対象学年	専2
開設期	前期	週時間数	2
教科書/教材			
担当教員	高岡 俊輔,二村 彰		

到達目標

海上輸送の実務を理解できる。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
海上輸送の歴史を理解できる。	十分に理解できる	だいたい理解できる	ほとんど理解できない
海上輸送の実務を理解できる。	十分に理解できる	だいたい理解できる	ほとんど理解できない

学科の到達目標項目との関係

専門 A1 専門 A2 教養 B1 教養 B2 教養 C1 教養 C2 教養 C3 教養 D1 教養 D2 専門 E1 専門 E3

教育方法等

概要	海上雑貨輸送推進のための主体である船舶についての実態を講義する。国際運河等を説明しながら国際物流に就いて述べ、海上輸送の更なる発展の可能性を考察する。
授業の進め方・方法	講義中に小テスト、レポート、出席状況を総合評価とする。
注意点	１単位当たり３０時間の自学自習を必要とする。

実務経験のある教員による授業科目

授業の属性・履修上の区分

□ アクティブラーニング	□ ICT 利用	□ 遠隔授業対応	□ 実務経験のある教員による授業

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	ガイダンス	授業内容や学習方法が理解できる
		2週	船舶の歴史と物流	船舶の歴史を理解できる
		3週	世界貿易と海運	貿易と海運を理解できる
		4週	日本貿易概要	日本貿易を理解できる
		5週	内航船舶について	内航船舶を理解できる
		6週	外航船舶について	外航船舶を理解できる
		7週	海上輸送の問題点	海上輸送問題を理解できる
		8週	船舶運航者と海運実務	船舶運航と実務を理解できる
	2ndQ	9週	海上輸送契約の実情	海上運送契約を理解できる
		10週	貨物の管理と梱包実務の現状	貨物運送管理と梱包を理解できる
		11週	船舶における通関業務の実情	船舶通関業務を理解できる
		12週	物流効率化への現在の取組みの状況	物流効率の取組みを理解できる
		13週	海上輸送に関わる施設の現状	海上輸送施設を理解できる
		14週	他の輸送システムの現状と連携	海上輸送、陸上輸送及び空輸等のっシステム及び連携を理解できる
		15週	パナマ運河の現状	パナマ運河を理解できる
		16週		

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	70	0	0	30	0	100
基礎的能力	0	70	0	0	30	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0